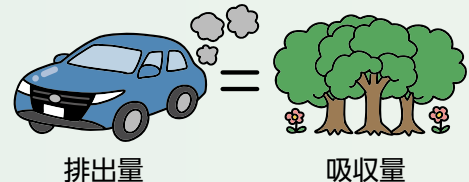


ゼロカーボンに取り組もう

ゼロカーボンシティ推進室 ☎829-1251

ゼロカーボンとは？

CO₂などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な排出量をゼロにすること。日本では、国内の温室効果ガス排出量を減らし、2050年までにゼロカーボンを目指しています。



取り組まないとうなる？

温暖化が原因とみられる猛暑や豪雨などの異常気象により、これまで経験したことのない甚大な被害が発生しています。世界的に「気候危機」と呼ばれるほど極めて切迫した状況にあり、このままでは、深刻な食料不足や生態系の破壊などが起きてしまいます。



これまでの市の取り組み

平成25年度

ながさきソーラーネット プロジェクト

市の施設に大型太陽光発電設備を設置したり、公共施設の屋根などを太陽光発電設備の設置スペースとして事業者提供したりしています。

平成28年度

ながさきサステナプロジェクト
大型太陽光発電設備で発電した電気を売ることのできた収入を「ながさきエコライフ基金」に積み立て、この基金を活用して、幅広い世代に向けた環境講座や教室などを実施し、環境行動やリーダーとなる人材の育成に取り組んでいます。

令和元年度

(株)ながさきサステナエネルギー 設立

市内の廃棄物発電や太陽光発電で発電した再生可能エネルギー由来の電力の地産地消を行い、市内の脱炭素化と地域内でエネルギーが循環することを促進しています。

ゼロカーボンシティを目指して

市民・事業者・行政が一丸となって地球温暖化対策に取り組むため、令和3年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。キャッチコピーは、「わたしからできるゼロカーボン」です。このマークを見掛けたら、ゼロカーボンのために私たちができていることに取り組んでいるか、振り返ってみてくださいね。



**Zero
Carbon
Action
Nagasaki**

わたしからできるゼロカーボン

私たちができること



日本のCO₂排出量の約6割が、私たちの衣食住の関係から発生しています。生活の中でちょっとした工夫をしながら、無駄をなくし、環境負荷の低い製品・サービスを選択することで、CO₂削減に大きく貢献することができます。私たちができることをチェックして、自分たちの手で暮らしやすい環境をつくっていきましょう！

マイバッグを使う



徒歩・公共交通機関を利用



ごみを正しく分別



食べ残しをしない



ゼロカーボンを目指すためにみんなができることを「ちょこっとゼロカーボン」と題して、広報ながさき 23～27 ページのどこかで紹介したりしています。

活用してください

補助金



中小企業

自家消費型の太陽光発電設備を導入

最大 **320** 万円

社用車を電気自動車に変える

軽自動車 **10** 万円、普通車 **20** 万円

条件や申込方法など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

市民

エアコン・冷蔵庫・照明器具・給湯器の買い替え

最大 **3** 万円

